

令和 6 年度防府市産業戦略本部 第 2 回会合 議事録等

■開催日時・場所

令和 7 年 3 月 7 日（金）午後 1 5 時 0 0 分から
防府市文化センター

■次第

- 1 開 会
- 2 議 題

令和 7 年度当初予算（案）の概要について

- 3 その他
- 4 閉 会

■配布資料

	資料名
資料 1	令和 7 年度当初予算（案）の概要
資料 2	令和 7 年度のまちづくりの取組
参考 1	総合計画 防府のまちづくりについて
参考 2	防府市の人口について
参考 3	令和 7 年度「企業の従業員の住まい確保への支援」に関する取組
参考 4	三田尻中関港利用促進パンフレット

■出席者名簿

敬称略・順不同

種別		所属団体・役職	名前	出欠
本部長		防府市長	池田 豊	出席
本部委員	大企業	マツダ株式会社 防府工場 総務部長	田中 真二	出席
		株式会社ブリヂストン 防府工場 総務課長	室田 聡	出席
		協和発酵バイオ株式会社 山口事業所防府 総務課長	山本 武司	欠席
		東海カーボン株式会社 防府工場 総務課長	矢田 和也	出席
		株式会社丸久 専務取締役	宇佐川 浩之	出席
	中小企業	王子ゴム化成株式会社 管理部長	尾高 盛巨	欠席
		東山口信用金庫 本店長	長峯 浩	出席
		大村印刷株式会社 取締役本社営業部長	村田 浩司	出席
		有限会社周防タクシー 代表取締役	新原 耕由	出席
		アボンコーポレーション株式会社 代表取締役	松村 憲吾	出席
		光浦醸造工業株式会社 代表取締役	光浦 健太郎	出席
		フラワースペース Co-co 代表	森本 幸代	出席
	関係団体	防府商工会議所 会頭	羽嶋 秀一	出席
		天神町銀座商店街振興組合 理事長	種田 正幸	出席
		防府流通センター協同組合 理事長	喜多村 誠	出席
事務局	本部員	産業振興部 部長	杉江 純一	
		土木都市建設部 部長	石光 徹	
		総合政策部 部長	永松 勉	
		文化スポーツ観光交流部 部長	瀬川 博巳	
	庶務	産業振興部 理事	亀井 幸一	
		産業振興部 部次長	松村 訓規	
		産業振興部 企業応援課 課長	則常 弘和	
		産業振興部 企業応援課 課長補佐	福知 圭子	
		産業振興部 企業応援課 主任	上野 将隆	

1 開 会

市長（本部長）挨拶

2 本部委員紹介

事務局から出席委員の紹介

3 令和7年度当初予算（案）の概要について説明

本部長からを資料に沿って、令和7年度当初予算（案）の概要を説明

4 各本部委員による意見

本部長

令和7年度当初予算（案）の概要に対する意見をお伺いする。

A委員

普段は小売という立場で、主に農産物や水産物などの生鮮食品に関わっている。その上で、その事業に携わっている方の所得の向上がよい循環を生むと思っている。今も関係者と連携しながら、農産物等で防府の特産品を育てようと力を合わせている。

防府には農業大学校や農業試験場もあるので、そちらとの連携なども含めて本部長（市長）の取組を伺う。

本部長

予算の中でも触れた農業公社を中心として、土地利用型農業の推進をし、担い手確保や耕作放棄地対策を行いながら小中学校の給食米確保の取組を行う。防府でとれる農産物等をもっと給食に使いえばよいとも考えている。そのことをもっと打ち出すためには、作る方だけでなく、小売の方も含めて地産地消を謳っていかないといけないので、連携・体制をもっと充実して売込をかけ、市民に明るい話題を提供できるように、事業者の皆様のご協力をお願いする。

B委員

産業インフラに関しては、実施済みのもの、これから完成するものも含めて、これから大いに期待が持てる状況である。人口減少が全国各地で騒がれている中で、防府市の社会増という状況も非常に明るい話題である。

その中で、企業は、求人活動に非常に苦慮している。進学等で転出した若者が、是非Uターンして戻ってきてもらえるような取組を、小さい頃から教育の中に取り込めないだろうか。もちろん本人だけでなく、親や先生への意識づけも含めて。

本部長

まずは、行政として取組むべき事項は、明るいまちにすることだと思っている。住みやすいと誰もが感じるまちを目指して色々な取組を行っている。情報発信や意識づけについては、単独では出来ないの、商工会議所や民間と一体となって進めていく。小さい頃からの意識醸成が必要だと私も認識しているので、短期的、長期的施策を展開し、防府に住み続けたいと思ってくれる人を増やすために、子どもの頃からしっかりと

防府の素晴らしさ、よい企業があることを伝えていきたい。

C委員

防府の産業力強化に対する取組はすごく期待が持てると感じている。

自分の属する業界の話であるが、生産者と卸小売の間で、売れるものや売りたいものの、作りやすいもの等オーダーがよく交錯する。その中で、今、花の市場の中で最も価値が上がっているのが、トルコキキョウというお花である。薔薇とよく比較されるが、色んなシーンで使うことが可能で、日本の文化に合っているということで、とても人気が高くなっている。暑さにも強く、楽しめる時間も長いので、これから需要が高まってくると感じている。これは一例であるが、こういった売り手や作り手の話し合いの場があると業界として盛り上がるので、参考にいただければありがたい。

本部長

まずは、生産者の方からみると作りやすい、そして売れやすいという点が揃うといい方向に流れると思う。単価が高くても作ることが難しいものは、コストが膨らむので、ニーズを見ながら色々研究していかなければいけない。山口県は切り花の購入価格が全国の中で低い位置にあるので、これから伸ばせる要素はある。あまりニーズ先行で偏りが出るとそれはそれで値崩れが起こるので、色々な技術を習得してもらい、バランスよく生産をしてもらいたいと思う。

C委員

1点付け加えて、最近若い方の趣向や考え方が変わってきていると感じる。社会貢献を意識している方、人の為にお金を使う方が増えてきている。贈り物として親族や知人に花を渡す若い方が増えてきており、体感の中で少し時代が変わってきていると思う。その影響の1つがSNSの普及だと思っており、上手く噛み合えば、色々な価値を見出すことも出来ると思う。いい面ばかりではないが、上手く活用していきたい。

D委員

昨年、市内の企業説明会を開催している。今年は更にバージョンアップをして7月に開催予定となっている。通常の企業説明会は、行きたいところに行くというスタイルであるが、我々の方法は、第1希望の企業は必ず説明が聞ける状態であるが、残りの3社は、ランダムで振り分けをしたところの説明を聞いてもらう。こういった方法で、市内企業の認知をしてもらい、大企業だけでなく中小企業者にもスポットを当てるように工夫している。

また、その上で今年から進学校にも参加をお願いしており、進学した後の就職の選択肢に防府の企業を検討してもらえるように取り組んでいるので、毎年盛り上げていけたらと考えている。

本部長

今年のフェアに私も参加した。通常、大学等に進学された学生は、市内にいい企業が沢山あることを知らないことがあるのではないかと思います。こういったきっかけで知る機会があれば、視点も変わってくると思うので、今後もこの企業説明会が盛り上がるよう一体となって進めていきたい。

E 委員

人手不足の問題に関して、防府のまちに愛着を持ってもらうことが一番だと考える。防府に住みたいと小さい頃から根付かせることが大切だと感じていた中で、「防府歴史・文化財読本～ほうふ学入門～」が作られたことは、とても良いことだと思う。もし可能であれば、今実際に行われている3歳児への絵本配布で、その絵本を防府の題材にするともっと小さい頃から防府市の良さに触れられると思うので、知ってもらおうということを念頭に参考にしてもらえれば。

本部長

子供への読み聞かせの中で、お母さんへの認知が進むことも大きなメリットだと思う。菅原道真公の話など絵本で見せても面白いし、教育にも繋がると思うので、参考にさせていただく。

B 委員

先日、講演で図書館に絵本がたくさんあるまちというのは、魅力あるまちだという様に紹介されていた。委員の言われたように絵本なども一つの要素として、まちに色んな施設、若者の集まる場所などがあればすごく活性化すると思うので、色んな魅力が集まるまちにして欲しい。

本部長

子供の時の記憶というのはすごいもので、インパクトが大きければ、すごく鮮明に記憶されている。私も小さいときに社会見学で防府市役所に来たときの記憶が未だに残っている。そういう意味で、小さいときの家族の会話などに防府の良さが出てくれば、自然と小さい頃から認識できてくると思うので、絵本やまちづくりなど、家族の会話の話題になるよう参考にさせていただく。

F 委員

とある企業の話で、工場見학을幼稚園、小学生、中学生で工場見学を定期的に行っているところ、受験者の割合が年々増えていっており、理由を聞くと工場見学を行っていることで、認知が進み受験者増に繋がっているという話であった。新たな取組をしていくことは、大変パワーがいることだが、小さい頃から接点があるというのは、やはり強みだと思うので、いろんな企業や業界が、接点を増やす取組を進めることで直結はしなくても、将来の地元定着に繋がっていくんだなと感じている。

予算説明の中で、教育部門への施策が充実しているなと感じた。特に市内全ての小中学校のトイレを洋式化する事業についてはかなりの満足度だと思う。従業員のアンケートでもトイレを含む福利厚生については、満足度の向上にかなり影響が出る部分なので、生徒を始め、保護者からも評価は得られるのではないかな。

地域クラブへの移行補助や分煙対策の予算についてもかなり喜ばれると思う。

最近、海外からの来訪者が増えているので、海外の方に防府のまちを案内できる情報をまとめてもらえるとありがたい。

本部長

市長になって、一番最初に防府駅のトイレの改修を行った。その成果で駅のイメージアップにもつながっていると思うが、今回市内小中学校のトイレ、全ての洋式化が予算化出来て良かったと思っている。社会見学については、また皆様にご協力をお願いする

こともあると思うし、地域クラブ移行についても教育委員会のサポートということで補助を含め、支援をしっかりとしていきたいと思う。

海外の方へのアプローチは大きな課題だと認識している。この点についても民間の方と一緒に色々検討していきたい。

G 委員

銀座商店街のアーケードについては、老朽化が進んでおり、組合では、撤去という方針を立てていたにもかかわらず、中々前に進めていくことが難しかった。しかし、今回テナントの方や地主も含めてもう一度、解体に向けて立ち上がったところで、市からも協力が得られる形となった。組合として御礼申し上げる。これからまた地元の調整等大変であるが、皆、良くしようと協力してくれているので、引き続き頑張っていきたい。

最近の若い方は、スマホやタブレットを使用してすごくクオリティーの高い制作物が出来る。音楽や画像を繋ぎ合わせて、すごく短時間で動画などを作ってしまう。こういった感性や技術を活用して、工場見学をした際のPR動画作成や、観光地の紹介動画などを作る機会があれば面白いと思う。

本部長

商店街については、表参道再生プロジェクトということで、将来的なまちづくりについても課題が多くある。急ぐ部分としっかり議論しないといけない部分と両方あるが、整備する一帯がまた元気になっていくよう、商工会議所の力も借りながら市民を挙げて頑張っていきたい。

デジタルの分野については、子どもたちのアイデアというのが凄く大切になってくる。子どもたちのアイデアが活かせるようこれからまた色々検討していく。

H 委員

子育てに関する部分で、各ステージで色々なプレゼントやお祝いが用意してあり、切れ目なく親子に喜んでもらえるものが届くというのは、とても良いアプローチだと感じた。移住促進という言葉で謳っていくのではなく、まちの魅力や良さを前面に打ち出して、その良さに共感してもらうことでまちが盛り上がり、人が増えていくというのはすごく戦略がしっかりしている。

それとは別に2点ほどお願いがある。1点目は、従業員の意見から夜間の道路について少し暗い部分があるように聞いている。道路整備が行われる際は、考慮いただければありがたい。2点目は、宿泊場所が少ないように聞くことが多い。その分防府の街に来る人が多いのだと感じる反面、いっぱいであると他へ行ってしまうこともあると思うので、宿泊環境の確保について検討を進めてほしい。外国人の方が泊まりやすいという観点も今後は生きてくると思う。

本部長

道路について、市道や県道、地元という部分で沢山の関係者がおられる。色々市内を点検して、安全安心の観点から、整備を進めていきたい。読売マラソンもすごく盛り上がってきたところなので、色々な気付きを報告してもらって、チェックを行い、走ることも含めて安心して生活できるマラソンのまちを目指していきたい。

I 委員

地域での企業認知について、先日市内の小学校で味噌づくりの体験を授業でさせてもらった。製造者としては、普段の作業のような工程でも、生徒からしたら未知の体験であったり、すごく俯瞰した観点が認識できたり、双方にとってすごく価値のある時間になったと思う。その中で、その後実際に製品の売上が上がったりと、先ほどから話に出ている認知が進む・接点が出来るということが、すごく大事であると感じた。

今の小学生は、授業でプログラミングがあり、自分たちが作っている製品の反応などをプログラムとして学べるのではないかと考えている。まだまだ、検討段階ではあるが、先日の味噌づくり体験の延長上に発酵とプログラミングのシュミレーションなど、不確実性と確実性を楽しむカリキュラムを作れると、すごく子どもたちも楽しめるような仕掛けになると思う。物価の上昇など厳しい面もあるが、小規模な事業者でも色んな角度から活路を見出して頑張っていきたい。

本部長

子どもたちは、実験がすごく好きだと思うが、単なる実験ではなくて、市内のゆかりある事業者などにまつわる実験というのが、凄く愛着も湧くし、興味が出てくる一要素なのではないかと感じる。子どもの頃から地元への興味を持てるいい機会だと思ったので、話を聞いてすごく嬉しくなった。防府のまちはすごいんだぞということを、子どもたちが誇りに思ってもらえればいいなと思う。

J 委員

漁場環境整備事業については、事業継続をしてもらいたいと思う。ブルーカーボンについては、藻場づくりを頑張っているが、せっかく藻場を作ってもアイゴという魚に食べられてしまう。そのアイゴという魚を駆除ではなく、食すという行為で環境配慮をしていきたいと進めている。先日あった事例で、ある会社の社食で、アイゴ料理を提供して、ブルーカーボンデーと位置付けるといったものがあった。市内企業にもこういった取組が広まっていけばすごく市として貢献できていくのではないかなと思う。

防府の塩田の歴史は、すごいものがあるということを最近学んでおり、塩は生活の中で欠かせないものなので、是非この歴史についても市内の認知を進めていってほしい。

本部長

今年は、毛利重就公生誕300年ということで、また塩田の歴史もスポットが当たる。この機会を活かしてPRを進めていきたいと思っている。

アイゴも食べてみたが、すごく美味しく調理できるので、こういった点も是非皆様の宣伝もお願いをするところである。

K 委員

夜間タクシーについては、深夜帯（0時から6時まで）の移動手段として、タクシーが1台は待機するというところでスタートしているが、昨年から2台体制になったことで、1台が走行中でももう1台使えるという安心感がある。この点が利用者にも伝わってくれば、移動手段として安定に繋がってくると思うので、是非みなさんに知っていたいただければと思う。1点報告です。

L 委員

金融面において、金利がどんどん上がってきている状況で、市からの市制度融資の支

援については、非常に助かっている。

創業については、会議所を中心として創業支援の体制がかなり強力なため、新規創業者がここ２、３年かなり増えてきている。そのおかげで、全国の中で見た時の山口県の創業や事業承継の数値がかなり上がってきている。

本部長

中小企業振興において金融は欠かせない存在なので、またいろんなアドバイスをいただきながら、施策・予算を組み立てていく。

本部長

本日いただいた意見を参考に、産業戦略に活かしていきたい。引き続き、ご意見をいただきたい。

閉会